

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」河内松原校		
○保護者評価実施期間	2024年10月8日		2024年12月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21人	(回答者数) 13人
○従業者評価実施期間	2024年10月8日		2024年10月19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 7人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さんが楽しい気持ちで来所し、次に来所するのを楽しみにできるように、楽しく頑張る取り組みの支援を提供すること。	ミーティングでの支援内容・方法の交流を通して新たなプログラムや支援提供時の工夫・改善。指導員が自分の持ち味を活かした支援が提供できるように、毎日のミーティングで意見交流しプログラムを企画している。	指導員のお子さまのさらなる理解、保護者様の思いをしっかり受け止めることができるよう、また、充実した支援が提供できるようにスキルアップを図る。
2	保護者様の不安やご要望を丁寧にお聞きし、対応させていただくこと。	来所されたときやモニタリングでの保護者様の不安やご要望等のお話の聞かせていただき、一緒に支援の方向性を考えている。また、パパ・ママカフェでの保護者様同士の交流を通して、不安の解消や気づきの機会としている。	子育てサポート加算を活用し、支援を見ていただきながらいろいろな相談をお受けするなど保護者様の支援をさせていただく機会を増やしていく。
3	関係機関(保育園・幼稚園・こども園・小学校・中学校・支援学校・高等学校)を訪問しお子様の様子を交流し一緒に支援について考えていく連携を深めていること。	学校園でのお子さんの様子を見学させていただいたり、先生と情報共有・意見交換をすることを通して、支援の方向性を確認したり、それぞれでの取り組み工夫を共有している。	今後も保護者様のご要望にそい、関係機関連携の機会を増やしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別療育であるため、他のお子さんとの関わりや集団として互いに関係を作っていく機会が、普段の支援の時間には設定が難しい。 個別療育だけでなく、集団療育を取り入れた支援をいかに提供していくかが課題である。	個別療育であり、利用者様同士の交流の場を普段の支援の時間での設定が難しい。	月1回程度小集団支援を実施している。個別支援の良いところを活かし、指導員が一人のお子さんと一対一のかかわりができるように利用定員を5～6人としている。これまで児童発達支援の小集団療育を実施、夏休みに放課後デイサービス小集団、12月には児童発達支援と放課後等デイサービスの小集団療育を実施した。今後も、内容・方法を工夫し小集団療育の機会を設定していきたい。
2	定められた支援時間内に、課題の解決につながる支援を提供するため、さらに内容を深めた支援を提供するには時間が足りない場合がある。	支援を振り返りも含め60分で設定しているため。	お子さんの状況や保護者様のご要望により100分支援を行っている。その中で、お子さんの集中力を維持していくため、楽しく取り組める課題やリフレッシュできる時間や課題を提供できるように工夫している。
3	遅い時間帯のご希望も多く、17時～と18時～の時間帯に集中してきている。そのため、お休みをされた際の振替や追加利用の時間をお取りしにくいときがある。	指導員の人数の関係や利用定員から、個別支援は同一時間に4コマが限度となっている状況である。	振替や追加利用のご希望をいただいた場合、可能な限り調整させていただいている。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」河内松原校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 21人 2024年12月23日 回収数 13人

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	2	0	1	・うまく部屋を使っており、十分に確保できている。	支援スペースは法令順守しているが、今後もより充実した支援が提供できるように活用スペース等の工夫を努めたい。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	12	0	0	1	・支援が終わった後、遊んでくれる先生がいてるので適切である。	職員の配置については法令順守している。今後も適切な職員配置をしていく。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	0	0	1	・すっきりとしているお部屋で、こどもにとっても分かりやすいと思います。	支援室等には段差がなく、バリアフリーに配慮している。洗面台の高さが大人用であるので、踏み台を置くとともに、使用時は職員が付き添い安全確保に努めている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	0	0	0	・心地よく過ごせるので、毎日行くのを楽しみにしています。	日々の清掃、除菌、換気等に努め、より安心してご利用いただけるようにしている。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9	2	0	2	・どの先生も子どものことをよく見て理解しているので相談しやすい。	今後も職員間の情報共有等に努め、適切な支援が提供できるようにするとともに、職員の資質・専門性向上に努める。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12	1	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11	1	0	1	・こども一人ひとりにあわせて作成されていて、発達が伸びています。	支援後の振り返りやモニタリング時に保護者様のニーズをお聞きし個別支援計画に活かしている。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12	0	0	1	・小学校に向けての活動内容をしてきて、どのように伸ばしていくかが明確で、具体的な支援内容が設定されている。	個別支援計画には「本人支援」の他に「家族支援」「移行支援」について記載している。保護者様のご相談やご要望を踏まえ、より充実した支援が提供できるような個別支援計画や事業所内相談、学校園との連携機会を設定していく。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10	2	0	1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12	0	0	1	・毎日、活動プログラムが違うので、親も今日はどんなことをしたのかなと楽しみです。	事前に情報共有を行い、支援が個別支援計画にそった、充実したものになるように固定化しないようにしている。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	3	1	1	8	・保育園訪問をして、先生たちからとても勉強になったと聞いています。	ご要望があった場合や必要と判断したとき関係機関と連携する体制はできている。
保護者 への	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13	0	0	0	・丁寧に説明していただいたので、安心して利用しています。	契約時の契約書や重要事項説明書の説明を通して、理解を深めていただいている。また、教室内に掲示している。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12	0	0	1	・分かりやすく説明していただき、こどもがどう育ってほしいか明確になりました。	保護者様のご意見やご要望を踏まえ個別支援計画を作成している。各目標の取り組み内容についても計画をお渡しする際に説明させていただいている。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	0	0	2		振り返りやモニタリング、子育てサポート支援等で、ご相談を受け一緒に考えたりアドバイスをさせていただいている。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	13	0	0	0	・どの先生も子どものことをよく見て理解しているので相談しやすい。先生も子どもを理解しており、こどものもの様子がよく分かります。	振り返りやモニタリング、子育てサポート支援等で、ご相談を受け一緒に考えたりアドバイスをさせていただいている。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	1	0	0	・定期的に行われており、安心して利用しています。	振り返りやモニタリング、子育てサポート支援等で、ご相談を受け一緒に考えたりアドバイスをさせていただいている。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13	0	0	0	・とても話しやすく、相談しやすいので、しっかりと支援していただき安心していきます。	振り返りやモニタリング、子育てサポート支援等で、ご相談、困りごと等をお受けする機会を可能な限り設けている。

説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	1	0	6		
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	0	0	0	・いつもすぐに対応しています。	ミーティングや日常の会話を通して、相談やニーズをお聞きし、その内容を職員間での共有に努めている。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	0	0	0	・とても丁寧に配慮されていると思います。	支援や振り返り、モニタリング、子育てサポート支援で、保護者様の相談やご要望をお聞きし、お子様の状況や支援の方向性を共有している。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13	0	0	0	・インスタグラムはとても分かりやすいです。	案内やお知らせを配布・掲示するとともに、HPのブログやインスタグラムで、活動の様子や行事等の案内や自己評価、支援プログラムを公表している。今後も分かりやすい発信に努めていく。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13	0	0	0		個人情報にかかる資料やPC等は鍵のかかるロッカーに保管するなど取扱いに注意している。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	0	0	4	・入所時にしっかりと説明していただいています。部屋にも掲示されており分かりやすいです。	職員で定期的に防災訓練を実施しています。マニュアルの利用者様への情報提供が十分でない。今後アナウンスに努めていく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	0	0	6	・入所時にしっかりと説明していただいています。部屋にも掲示されており分かりやすいです。	個別支援なので利用者参加の機会設定が難しいが、定期的に防災訓練を実施し、緊急時の対応について職員間で確認している。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	0	0	0	・入所時にしっかりと説明していただいています。部屋にも掲示されており分かりやすいです。	契約時に安全にかかる取り組みについて説明するとともに、教室内に防災ヘルメット配置や避難経路掲示等している。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	0	0	3	・入所時にしっかりと説明していただいています。部屋にも掲示されており分かりやすいです。	契約時に契約書や重要事項説明書等を基に、安全確保や事故が発生したときの対応について説明している。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13	0	0	0	・毎日とても楽しそうに受けています。自信がついてきて生き生きしています。	今後もより楽しく学んでいただけるよう、職員のスキルアップを図るとともに、支援内容・支援方法の工夫に努めていく。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11	0	0	2	・毎日いつ行くのかと聞いてきます。とても楽しみにしています。	今後もより楽しく学んでいただけるよう、職員のスキルアップを図るとともに、支援内容・支援方法の工夫に努めていく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	13	0	0	0	・相談にもたくさんのお返事をいただき、安心して利用しています。	今後も振り返りや子育てサポート支援、モニタリングを利用し、ご相談等をしっかりとお返し、一緒に考え、保護者様により信頼される事業所をめざしていく。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	こどもサポート教室「きらり」河内松原校		公表日	2025年 2月 15日
------	---------------------	--	-----	--------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	パーティション等で支援スペースを確保したり、ミーティングルームを使用するなど工夫している。	支援スペースは法令順守しているが、今後もより充実した支援が提供できるように活用スペース等の工夫に努めたい。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0		職員の配置については法令順守している。今後も適切な職員配置をしていく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	支援室には段差がなく、バリアフリー等について配慮している。	支援室等には段差がなく、バリアフリーに配慮している。洗面台の高さが大人用であるので、踏み台を置くとともに、使用時は職員が付き添い安全確保に努めている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	毎日の清掃にあわせ、除菌や換気を行うとともに、加湿器・空気清浄機・イオン発生器を使用している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	支援に使用する場所については、事前に職員間で相談・調整し、より支援を提供しやすくなるようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	日常的に業務について情報共有するとともに、ミーティングにおいて支援環境や内容、方法について改善に努めている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	振り返りやモニタリングの際に、保護者様の思い等の聞き取りをさせていただくなど、コミュニケーションをとるようにしている。保護者様との信頼関係を大切にしながら、業務改善に努めている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4	第三者からの評価ができるだけ得られるように相談支援事業所や学校園等の関係機関のお話から「きらり」への評価の把握に努めている。	第三者評価は受けていませんが、サービス向上のため、今後も外部機関との連携の中で、評価が把握できる意見をお聞きし、業務改善につなげていく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	「きらり」や自治体の研修に参加するとともに、職員間で内容の共有を行っている。	ミーティングでの意見交流も指導員の資質向上につながる機会としている。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	支援プログラムについては、きらりHPに掲載をしている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	1	振り返りやモニタリング時に、保護者様とお話をさせていただいたり、ミーティングや日常のやりとりを通して職員間での情報共有に努め、より充実した支援提供につながる個別支援計画となるようにしている。	今後も丁寧な振り返り、職員間の情報共有・意見交換に努め、課題を整理・把握し、充実した支援提供につながる計画作成に努める。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	ミーティングや職員間の日常のやりとりを通しておこさまの状況や保護者様のニーズ等を全員でお子様の状況や保護者様のニーズ等を共有し共通理解したうえで計画を作成している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	モニタリング時に児童発達支援管理責任者も参加し、保護者様の思いやニーズをしっかりと聞き、個別支援計画を作成し、計画に基づき支援を提供している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	2	年度ごとにアセスメントシートを作成するとともに、ミーティングや職員間の日常のやりとりを通して、さまざまな職員の視点、支援の方向性を多角的に考え、共有している。	

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	個別支援計画にも、「本人支援」の他に「家族支援」「移行支援」を記載し、具体的な支援内容を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	3	複数担当制で支援提供しているが、職員間の情報交換を密に行い、支援プログラムを工夫するとともに、前回の支援とのつながりを大切にし、活動プログラムを立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	より楽しく支援を受けられるように、内容や方法の工夫に努めるとともに、個々の指導員の持ち味や得意を活かめるとともに、個々の指導員の持ち味や得意を活かした支援をめざすことで固定化につながらないようにしている。	今後も支援内容等について意見交換や情報交換につとめ、支援内容の幅を広げていく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	2	児童小集団、放デイ小集団、児童と放デイ合同小集団を実施している。	今後も小集団支援を企画・実施し、個別活動と集団活動を組み合わせた支援を企画、提供していきたい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	4	支援を提供する場所やプログラム内容を事前に職員間で共有し、よりよい環境で支援が提供できるように努めている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2	ミーティングでそれぞれの実践した支援の振り返りを行い、支援の改善点等のアドバイスを互に行い、次の支援に活かせるようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	担当した職員が支援内容・支援方法を具体的に詳しく記録し、次に担当する職員が連携を持って支援ができるようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	モニタリング時に保護者様と情報共有をしっかりと行い、新たなニーズをお聞きし、次の個別支援計画作成に活かしている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1	児童発達支援管理責任者だけでなく、担当指導員も参加できるように調整している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2		現在、該当する利用者はいないが、必要な場合は関係機関と連携していく体制はできている。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	2	保護者様の希望や関係機関からの要請によるが、保育園・こども園・幼稚園・支援学校等の見学、先生との情報共有や意見交換を通して、インクルージョン推進の観点からの支援ができるように努めている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	4	保護者様の希望や関係機関からの要請によるが、スムーズな移行ができるように、保育園・こども園・幼稚園等の見学、先生との情報共有や意見交換を行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	0	0		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	0	0		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	0	0		
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	3	地域の児童発達支援センターと連携し、助言等を受ける体制はできている。		

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	6		個別支援であることから、他のこどもたちと日常的に活動する機会を設定することは難しい。ただ、今後も職員の見学等を通して、職員が校舎の中で他の子どもと交流する機会をつくっていききたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	支援後の振り返りやモニタリングを通じて、こどもの状況の把握・共通理解に努めている。	今後、子育てサポート支援の機会も活用していく。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	5	保護者会(パパ・ママカフェ)や子育てサポート支援、家族支援など家族の参加できる研修機会としている。	今後も機会設定をしていく。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	契約時の説明とあわせ、教室内に運営規定や重要事項説明書を掲示している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	モニタリング時に、保護者様にお子様状況と支援の今後の方向性等をお話し、こどもや家族の意向を確認する場を設けている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0	モニタリングでも個別支援計画の目標や内容に説明するとともに、作成した個別支援計画を保護者様にお渡しする際に説明させていただいている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	1	振り返りやモニタリング、子育てサポート支援の際に、保護者様の悩みや不安をお聞きし、一緒にどうしていくかを考えている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	2	保護者会(パパ・ママカフェ)を実施し、保護者同士の交流の機会を設定している。	
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	ミーティングや日常の会話を通して、保護者からの相談や申し入れについて職員間で共有し、全員で対応等を考えている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	定期的に、案内やお知らせを掲示したり配布している。また、HPのブログやインスタグラムで情報提供をしている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	個人情報にかかる資料やPC等は、鍵のかかるロッカーに保管するなど、取扱いに十分注意している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	来校時、支援後の振り返りやモニタリング等で意思疎通や情報の伝達に努めている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4	個別支援であるため、地域住民を招待する機会設定が難しい。	見学等の要望があった場合は、受け入れに向けて積極的に検討する。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	3		防災訓練は定期的に実施しているが、マニュアルの保護者様への情報提供が十分ではない。今後アナウンスに努める。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	2		BCP等の作成は行っているが、その内容についての保護者様への情報提供が不十分である。今後アナウンスに努める。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	該当する場合は、事前に保護者様からしっかりと聞きとらせていただき、職員間で情報共有している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	4		食べ物の提供はしていないが、イベント等で必要な場合は、協力医と連携し取り組んでいく体制はできている。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1	安全計画をもとに研修等を行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1		安全計画は作成しているが、その内容についての保護者様への情報提供が不十分である。今後アナウンスに努める。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	7	0	その日の内にヒヤリハットの内容を記録・共有し、本部に報告している。	

52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	定期的に研修を実施し、受講できなかった職員には日をあらためて伝達し、全員に周知できるようにしている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	1	契約時に契約書や重要事項説明書をもとに説明するとともに、教室内に教室内に掲示している。	